

設立趣旨書

「社会変革の担い手を輩出する」

これがハナラボの目指すこと。何かが変わるとき、必ず最初に一步を踏み出して道を切り拓いた人がいます。ハナラボは、その一步を踏み出す人を増やしたいと考えています。

最初に、社会変革の担い手となるのは女子学生たちです。彼女たちの強みは、共感力、発想力、ネットワーキング力。でも、彼女たちの能力を伸ばす場所も機会も殆どありません。それどころか、そういった女性の強みはビジネス社会では受け入れにくいものとして認識されています。しかし、価値観が多様化した現在、彼女たちの力は、日本のビジネスを変える大きな力になるのだと確信しています。

日本では、これまで女性の生涯を通じたキャリア形成について考えられてきませんでした。その結果、出産を機に退職する人は6割を超えています。最近では仕事をする女性は増えていますが、多くは非正規雇用であり、十分に能力を発揮できる環境ではありません。それは、本人にとっても、社会にとっても大きな損失だと言えるでしょう。

ハナラボでは、実在の社会課題の解決に挑むという経験を通じて、自分で道を切り拓くマインドと手法を身につけることを目指しています。プロジェクトは、課題を抱える自治体、課題を解決したいと考える企業、そして女子学生が協働しながら進めていきます。女子学生の共感力を活かしたヒアリングを通じた現状分析、課題発見、アイデア発想、シナリオ化プレゼンテーションのワークショップを実施し、最終的には地域課題ひいては日本社会全体の課題の解決に繋がるアイデアを提案します。さらに、そのアイデアの事業化を目指して活動します。また、多様な人々が集い対話しながら、課題解決について考え行動を起こすための空間をつくり、市民に提供します。

プロジェクトを通して、女子学生が社会変革の担い手として育ち、自分の所属する組織や地域で新しい道を切り拓く存在になってほしいと思っています。将来的には女子学生だけでなく、社会人女性も含めたプロジェクトを実施し、社会変革の担い手を輩出することを目指します。

広く一般市民が参加し、より多くの社会変革の担い手を輩出するため、ここに特定非営利活動法人ハナラボを設立することを宣言します。

2011年11月13日

特定非営利活動法人ハナラボ
設立代表者 角めぐみ